請 願 文 書 表

受 理 番 号	第10号
受理年月日	令和2年11月19日
件名	「『日本政府は直ちに核兵器禁止条約の署名·批准を』の意見書」を政府にあげる事の採択を求める請願
請願者の住所 及 び 氏 名	桐生市東7-3-2 桐生、みどり地区平和委員会
	会長 大木 俊一
調願の要旨	【請願趣旨】 「核兵器禁止条約」は人類史上初めて核兵器を禁止するための条約であり、「核兵器その他の核爆発装置を開発、実験、製造、生産あるいは獲得、保有、貯蔵」「核兵器もしくはその他の核爆発装置の使用、あるいは使用をちらつかせての威嚇などを禁止」する条約である。この条約が採択されてから約3年余経ち、2020年10月24日「核兵器禁止条約」の署名・批准の国が50ヶ国に達し来年(2021年)の1月22日に発効することが決まった。 世論調査でも日本国民の7割が核兵器禁止条約への参加を求め、自治体の4分の1を超える495議会(10月23日現在)が日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准・参加を求める意見書を採択している。音楽家の坂本龍一さん、元外相の田中眞紀子さん、元防衛相の田中直紀さん、映画監督の森達也さん、カトリック枢機卿の前田万葉さん、俳優の石田純一さん、小説家の平野啓一郎さん、東京大学名誉教授の広瀬清吾さんなど120人を超える人々が、日本政府もこの条約に署名・批准することを求めている。また、11月3日の国連総会第一委員会(軍縮・安全保障関連委員会)では核兵器禁止条約への署名・批准を呼び掛けた決議が118ヶ国の賛成で採択された。 日本政府は「保有国と非保有国の橋渡しをする」としているが、唯一の戦争被爆国の政府こそ、この機会を逃すべきではない。桐生市議会では、「桐生市議会は、すべての国の核兵器に反対し、その速やかな廃絶を求め、非核三原則を堅持し、人類の平和のための努力することを決意し、非核平和都市を宣言する。」との非核平和都市宣言を行っている。この宣言の精神に則り、日本政府に対して、直ちに「核兵器禁止条約」の署名・批准を求める意見書を議決していただくよう請願するものである。 【請願事項】 貴議会は、住民の生活と安全を守ることが地方自治の基本であることを念頭に置き、自治体の崇高な責務と、地方自治法第99条にもとづき、国に対して「日本政府は直ちに核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」の議決をしていただくよう請願するものです。
紹介議員	渡辺 恒、関口 直久
付託委員会	総務委員会
審査結果	
L	1